

熱海市は、将来都市像に「住むひとが誇りを訪れるひとに感動を誰もが輝く楽園都市 熱海」を掲げ、「住んでみたい」「訪れてみたい」、そしてそんな街に「投資をしたい」という「選択される街」を目指して、シティプロモーション活動に取り組んでいます。

『熱海NEWS LETTER』は、その活動の一環として、熱海の旬な情報をお伝えするために、定期的に発行しています。

右の写真は、P2でご紹介している熱海こがし祭り山車コンクールです。



LINE UP

ラインナップ

S

【特集1】熱海の暑い夏！暑い夏祭り！！・・・P2

熱海の夏の祭りは、暑い！今回第50回を迎える「熱海こがし祭り山車コンクール」や熱海で代々引き継がれる各地区のお祭りなどをご紹介します。

E

【イベント】7月・8月の主なイベントをご紹介します・・・P4

- ◇熱海海上花火大会
- ◇熱海サンビーチウォーターパーク
- ◇アタミアロハフェスティバル2018
- ◇伊豆山温泉さざえ祭り&花火大会

A

【熱海のココスキ!!】「夏の熱海も盛り上がります！」・・・P5

熱海市観光協会会長中島幹雄さんに、熱海こがし祭り山車コンクールや夏の観光のおすすめなどについて伺いました。



7月に入ると、熱海の街なかでは、祭りの山車のはやし囃子の練習が始まり、そこかしこから聞こえてくる太鼓の音が熱海の夏の訪れを知らせてくれます。今年で50回目を迎える「熱海こがし祭り山車コンクール」は、熱海の街が、多くの人で熱く盛り上がり、熱海の夏を活気づけます。今回の特集は、熱海で代々引き継がれる例大祭など、熱海の夏祭りについてご紹介します。

来宮神社例大祭と熱海こがし祭り

パワースポットで知られる来宮神社の例大祭を“こがし祭り”と呼んでいます。「こがし祭り」と呼ばれる由来については、約1300年前、和銅3年6月15日に熱海湾で神像のような樹根が網にかかったのがきっかけで、その樹根を取りあげた漁夫の前に童子が現れ、「我こそはいそたけるのみこと五十猛命である。この里に波の音の聞こえない7本の桶の洞があるからそこに私を祀りなさい。」と告げられました。そのお告げを聞き、村人たちが探し当てたのが現在、来宮神社のある西山の地でした。御神前に、麦こがし、百合根、橙をお供えしたところ喜んで召しあがったことから、この6月15日（新暦7月15日）に来宮神社例大祭が行われるようになり、神様に「麦こがし」を供えたという故事から、「こがし祭り」とも言われるようになりました。

こがしをまく猿田彦神



御鳳輦浜降り神事

熱海で代々引き継がれる御鳳輦は他の地域にはない珍しい伝統です。御鳳輦は、大厄の42歳を迎える男子が節分から翌年の節分まで来宮神社の氏神様に仕え、ご奉仕することで厄を逃れるというものです。熱海市では、御鳳輦奉仕として来宮神社以外の神社の地区でもその伝統があり、その時期には地元に戻る男性もいます。こがし祭りの本来の主体は、祭神が乗る神輿が街を巡り、神社に戻る神幸行列です。神幸祭の中にある御鳳輦浜降り神事は、例大祭の見どころのひとつで、厄年の男子たちが、声高らかに神々に感謝の気持ちを表す「みょうねん」という言葉を発しながら御鳳輦（神輿）を力強く担ぎ上げ、浜から海に入る神事で古来より代々継承されています。また、麦こがしが、神の思し召しに叶ったということから、御鳳輦の行列には、天狗の面をかぶった高足駄のさるたひこのかみ猿田彦神が「麦こがし」をまきながら道中を案内します。このこがしに触れると無病息災・身体健康になると伝えられています。



浜降り神事

熱気に溢れる山車コンクール

熱海が一番盛り上がる夜は、国道135号を規制して行う今年で50回目を迎える山車コンクールです。各町内会から伝統の木彫り山車や毎年趣向を凝らした装飾山車33基が繰り出します。この日は、地元の人から子供まで街中がお祭り一色。熱気溢れる雰囲気は、観光客の皆さんも一緒に盛り上がり楽しめます。熱海の熱いパワーが感じられる2日間です！



来宮神社例大祭「こがし祭り」日程

7月14日(土)：17時～宵宮祭

7月15日(日)：9時～宮神輿渡御 11時～例大祭奉幣 11時40分～13時 奉祝神賑行事(県指定無形文化財・鹿島踊・神女神楽・浦安舞) 18時30分～山車コンクール(国道135号線)

7月16日(月祝) 8時30分～神幸祭、奉祝神賑行事(鹿島踊・神女神楽・浦安舞) 9時50分～御神幸行列・御鳳輦浜降り神事(正午～) 15時40分～還幸祭り 18時30分～山車コンクール(国道135号線)

南熱海地区・初島地区の夏祭り！！

網代の勇壮な夏祭り！

阿治古神社例大祭と網代バイフェスティバル

江戸時代から港・漁師町として栄えた網代で繰り広げられる夏祭りは、網代の街が活気に満ち溢れます。この例大祭は、1591年(天正18年)豊臣秀吉が小田原城征伐の折りに厚木城を攻めるために網代から30艘の船を出し厚木城が落ちた暁に、秀吉から阿治古神社に祭典の神船と神船係の奉仕者に「流れ瓢箪」の幕染めと帯刀の着用を許可したのが始まりだと伝えられています。今もその慣例によって行われている10トンはある御神船「両宮丸」を瓢箪印の幕染めを纏った男衆が引き回し、地区内を練り歩く御神幸行列や浦安の舞、市無形民俗文化財の鹿島踊りは祭りの見どころです。また、例大祭のフィナーレを飾るのは網代バイフェスティバルで、山車の引き回しや太鼓演奏などさまざまなイベントで盛り上がります！



御神船「両宮丸」の引き回し



浦安の舞



バイフェスティバル

阿治古例大祭日程

7月19日：宵宮祭 7月20日：御神幸行列 7月21日：網代バイフェスティバル（網代港）

島民が総出！初木神社例大祭

初木神社は、初島にある神社です。孝昭帝の御代に島に漂着した初木姫の伝説が残る初木神社の本殿下には、古墳時代(3世紀中葉～6世紀末葉)の磐座(神が降り立つ場所で古代の祭祀場)の遺構があることが確認されています。

初木神社では毎年7月17日、18日の例大祭で鹿島踊りが奉納され、古墳時代から現代まで脈々と続く島の人々の霊場となっています。この神事は、1年で最も大きな島のイベントとされ、この日は食堂街をはじめ、初島漁協、スーパーや直売所もすべて休業です。島一体のお祭りをぜひご覧ください！



鹿島踊り

初木神社例大祭日程

7月17日：20時～宵宮祭

7月18日：11時～おくだり（鹿島踊り、山車・神輿）13時～おのぼり（鹿島踊り、山車・神輿）

南熱海地区

◆その他の例大祭

7月7日・8日 津島神社例大祭（中野地区）

7月28日・29日 多賀神社例大祭（上多賀地区）

鹿島踊りとは・・・？

千葉県や神奈川県西部から伊豆半島東海岸にかけて分布する各神社の例祭において、青少年、成人男子たちによって踊られる集団民族舞踊です。

見

夏の夜空に咲く大輪の花
「熱海海上花火大会」

7月・8月開催



熱海の夏は市内各地で花火大会が開催されます。熱海の花火は、眼前から打ち上げられるので、光の花だけでなく体中に響く音も魅力的です。

<開催場所・日時>

- 熱海湾：
7/27・31、8/5・8・19・24・30 20:20～20:50
- 伊豆湯河原：7/28 20:20～21:00
- 伊豆山：8/11 20:20～20:35
8/20・21・22 20:45～21:00
- 伊豆多賀：8/12 20:20～20:40
- 網代：8/16 20:30～20:50

◆お問合せ 熱海市観光協会 TEL 0557-85-2222

遊

毎年大人気！海上の巨大アスレチック
熱海サンビーチ ウォ～タ～パーク

7月21日(土)～9月2日(日)



熱海サンビーチ海上に設置されるビーチアトラクション「ウォーターパーク」が今年も開設されます！約40m四方のビーチアスレチックで、滑り台など約20種類のエア遊具があり、お楽しみいただけます！

対象年齢：小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)

利用時間：午前10時から午後4時までの1時間単位

利用料金：1回1時間あたり高校生以上1,500円
中学生以下1,000円

見

熱海でハワイアン
「アタミアロハフェスティバル2018」

7月21日(土) 13:00～19:30
22日(日) 12:00～18:30



毎年、全国各地からフラダンスの愛好家が集結する祭典です。カラフルなドレスに身を包み、親水公園で海をバックにハワイ気分ですら披露します。会場には、飲食店ほか、アロハシャツ・ジュエリーバッグなどハワイアングッズのお店も並びます。

◆お問合せ 熱海温泉旅館協同組合 TEL 0557-81-5141

食・見

ビール片手に花火とさざえのつぼ焼き
伊豆山温泉納涼海上花火大会&さざえ祭り

8月20日(月)～22日(水) 18:00～21:00



(花火大会時間 20:45～21:00)

伊豆山の海でとれた新鮮なさざえを肴にビールで乾杯！！

3日間花火大会やステージイベントなどもあります。食べて、飲んで、見ての楽しい一夜を伊豆山温泉でお過ごしください。

◆お問合せ 伊豆山温泉観光協会 TEL 0557-81-2631

まだまだ、ある。イベントカレンダー

7月	8日 南熱海ケイキフラフェスティバル2018 (うみえーる長浜)
	14日～9月2日 市内海水浴場海開き(熱海サンビーチ・長浜海水浴場・網代温泉海水浴場)
	22日 マリンフェスタ・アタミ2018(親水公園)
	28日 ゆがわらサンパレード&伊豆湯河原温泉納涼花火大会(泉公園)
	1日～4日 あたみビール祭り(親水公園)
8月	10・11日 納涼芸妓まつり(熱海芸妓見番)
	12・16日 伊豆多賀ビールフェスタ(長浜海浜公園)
	14・15日 網代温泉ふるさと祭り(大縄公園)
	16日 伊豆多賀百八体流灯祭(多賀湾)



中島 幹雄 さん
熱海市観光協会会長

—今年、50 回目を迎える熱海こがし祭り山車コンクールや夏のおすすめなど熱海の観光について熱海市観光協会会長の中島幹雄さんにお話を伺いました。

—熱海こがし祭り山車コンクールについて

中島 |こがし祭り山車コンクールは、年に一度、熱海の街全体が熱く盛り上がる特別な日です。この日は、みんなが街へ出ます。熱海から離れた人もこの日は帰ってきて地元の人も観光客も老若男女が大勢集まる熱気溢れるイベントです。ここ数年、審査員をやっていますが、近隣市町から来た審査員の方から、こんなに一体感があり盛り上がるお祭りはこの近郊では1番ではないかと言われました。今年で、山車コンクールは50回目を迎えます。きっかけは、昭和25年に熱海大火で、山車や神輿などもすべて焼かれてしまい、その後、各町内会の人々が復興して、各町内で競い合ったらどうだということでコンクールが始まったそうです。今では、各町内の熱気溢れるパフォーマンスと趣向を凝らした装飾山車や木彫り山車などが祭りを盛り上げ活気づけています。



昭和37年 清水町町内会の山車

—熱海ならではの御鳳輦 (P2 紹介) という伝統

—熱海ならではの御鳳輦 (P2 紹介) という伝統

中島 例大祭といえば、御鳳輦ですね。他の土地にはない伝統で、代々引き継がれています。私も42歳のときに参加しました。男性の厄払い奉仕ですが女性も手伝ってくれ、熱海から離れた人もこの時期は帰り、皆で集まり1年ほど地元で奉仕します。同窓会とはまた違ったもので、一体感や絆みたいなものができ、さらに仲間や地元を愛する心が生まれます。外の人からは、この伝統を結構羨ましがられます。

—お祭り以外にも熱海の夏は熱い！

中島 夏は海！ウォーターパーク (P4 紹介) がおすすめです。今年は、バージョンアップして新しい遊具が増えました！ウォーターパークは全国色々な場所でやっていますが、熱海サンビーチは他の場所と比べて波がなく、風にも強い、浅瀬から歩いていけるので子ども（小学生以上）でも楽しめます。私も入ってみました。幅広い年齢層に楽しんでもらえるのでおすすめです。

—最近の熱海・今後の熱海の観光について

中島 全般的に最近の熱海はすごく良いです。観光資源、立地にも恵まれ、メディア戦略もうまくいっています。また、街の人や各種団体、行政などそれぞれが協力しあう体制ができています。観光協会スタッフも365日頑張っていて、オール熱海で取り組んでいることが熱海の活気に繋がっているのではないのでしょうか。ただ、永遠に右肩上がりではなく落ちる時もあると思いますが、何をして、何を仕掛けるかは考えなくてはなりません。今後も熱海という恵まれた土地・資源を生かしながらも、やはり、人へのおもてなしを1番にしていくことが大切だと思います。

—最後に、中島さんの“熱海のココスキ！”ということがありましたら教えてください。

中島 静岡県唯一の離島、熱海にしかない「初島」が大好きですね。ほんの25分乗船するだけで海外のような旅行気分を味わえます。食べ物もおいしいし、人も優しい、初島へ行くとのんびりしてしまいます。熱海に住んでいながら日常を忘れ帰りたくなる場所です。

